

2019 年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36302	アロマセラピー Aromatherapy	原尻 浅世	専門	1	選択	1・2 年前期
<b>科目の概要</b>						
天然の植物から採れる精油(香り:エッセンシャルオイル)を使って行う、アロマセラピー。 自然療法として美容や健康、介護など、日々の生活に役立つ専門知識や実習力を修得し、講義と実習を通じて学び、活用できる能力を身に付ける。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
① アロマセラピーについて知り、説明できるようになることを目的とする。 ② 精油が何かを知る。 ③ 香りが心と身体に与える影響を理解する。 ④ 自然療法として、生活に役立てる方法を知る。 ⑤ 実際にどのように使うか、実習を通して知る。 ⑥ 実習の際、必要な精油を選択する事を判断する。 ⑦ 香りの違いを理解する。			① アロマセラピーについて理解ができる。 ② 精油についての理解ができる。 ③ 香りを嗅ぐだけでなく、健康やスキンケアに役立てることができる。 ④ クラフトを通して、生活に取り入れることができる。 ⑤ 自分以外の人にも役立つ方法のトリートメントができる。 ⑥ 自分のタイプにあった精油の選択ができる。 ⑦ 似た香りの違いを理解出来る。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	講義中、実習に積極的に取り組み、作品を完成させることができる。				
	働きかけ力					
	実行力					
考え抜く力	課題発見力	自分に必要なもの、テーマに沿ったものを見極めることができる。				
	計画力					
	創造力					
チームで働く力	発信力					
	傾聴力					
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、授業を円滑に進行するようルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト:アロマセラピー検定 公式テキスト 1級・2級(公益社団法人 日本アロマ環境協会 発行) 参考文献:なし						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
他科目との関連:アロマセラピー検定 2級、1級 資格との関連:なし						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
アロマセラピー検定試験受験希望者は、資格試験に向けて学習することも可能です。 その際、香りの試験があります。 授業の進み具合に応じて学習の確認のための小テストを行います。			授業中、配布した資料は必ず毎回、持参すること。 授業で作成したコスメクラフトは使用して、次回の感想カードに感想を記入。 授業中の私語は慎み、携帯電話の電源は切り、カバンに入れておくこと。 材料費、6,000 円(アロマクラフト、コスメ代すべて含む)			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
筆記試験	60	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマセラピーの基本を理解したかを評価。</li> <li>①問題を適切に捉え、回答できるか。</li> <li>②重要な点を押さえているか。</li> <li>・学習内容の理解度の確認。</li> </ul>
		②	✓	
		③	✓	
		④		
		⑤		
小テスト	20	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業中の小テストの点数の平均を判定。</li> <li>・授業内容を理解できているか確認。</li> <li>・出題範囲は、各時点までの授業で学習した内容とする。</li> </ul>
		②	✓	
		③		
		④		
		⑤		
レポート				
成果発表 (口頭・実技)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎回、授業の終わりに、当日の授業内容の理解度の確認と授業の感想、実習品を使用した感想をカードに記入。</li> <li>①個人の感想、表現の仕方など明瞭に表現されているか。</li> <li>②テーマを的確に捉えて、論理的な文章で論じているか。</li> <li>③実習品を使用し、感想が書けているか。</li> </ul>
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講態度(遅刻、欠席、学習意欲欠如、課題やその他の提出物の未提出、忘れ物、グループ活動への非協力など)が見られる場合は減点する。</li> <li>・6回以上の欠席は0(放棄)判定となる。</li> <li>・相槌やうなずきなど、話を聞く姿勢ができていること。</li> <li>・実習に積極的に参加し、周りの生徒と協力し合える。</li> <li>・小テストに向けて予習を行い、期末試験に向けて復習ができていること。</li> <li>・自分に必要なテーマの実習作品を選択し、作品を完成できる。</li> <li>・発言や感想カードに記載する際、相手に分かり易く伝わるような話し方、記述が出来ること。</li> </ul>
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
		⑥		
		⑦		
その他				
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)及び C(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記試験、小テスト、感想カードにおいてアロマセラピーの歴史や環境など全般に渡り、基本を理解と説明ができ、実習ができること。</li> </ul> <p>S 90% A 80%</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記試験、小テスト、感想カードにおいてアロマセラピーの基本を理解でき、感想カードに内容が反映させることが出来ること。</li> </ul> <p>B 70% C 60%</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	・アロマセラピーの基本 ・香りのイメージ体験 ・検定試験について ・香りのイメージレッスン	講義 (P10-15)、実習、感想カード	・自分の香りのイメージを、わかりやすく表現できるか。	(復習)教科書を読んでアロマセラピーの概要をつかむ。 (予習)精油の基礎知識について確認する。	40	主体性
2週 /	・エッセンシャルオイル① ・精油を使ったコスメ作り(ボディソープ)	講義 (P14-18)、実習、感想カード	・積極的に実習に参加しているか。	(復習)精油の性質、定義について復習する。 (予習)どのような作用があるか確認する。	40	実行力
3週 /	・小テスト エッセンシャルオイル② ・利用方法の体験実習	講義 (P19-21)、実習、感想カード	・製造法の特徴を理解する。	(復習)製造法の違いを復習する。 (予習)精油と環境について確認すること。	60	実行力
4週 /	・エッセンシャルオイル③ ・精油を使ったコスメ作り(お肌にあった化粧水作り)	講義 (P22-26)、実習、感想カード 授業の開始時に小テスト(答合わせ後、P10-21 フィードバックする)	・地球環境との関わりを理解できたか。	(復習)授業中、チェックしたところを復習 (予習)アロマセラピーの安全性について確認する。	60	課題発見力
5週 /	・小テスト ・アロマセラピーの安全性 ・精油を使ったコスメ作り(バスソルト)	講義 (P28-32)、実習、感想カード 授業の開始時に小テスト(答合わせ後、フィードバック (P22-26) する)	・精油の安全な使用法を理解する。	(復習)安全については大切なので、しっかり覚える。 (予習)P52トリートメント法について教科書で確認する。	40	実行力
6週 /	・ハンドトリートメントを学ぶ ・目的に合ったオイルを作り、ハンドトリートメントの実習	講義 (P52-53)、実習、感想カード	・積極的に実習に参加し、実践しているか。	(復習)次回の小テストに向けて、復習をする。 (予習)希釈濃度について確認すること。	60	傾聴力
7週 /	・小テスト ・アロマセラピーを実践する① ・ブレンドにチャレンジしてルームスプレー作り	講義 (P35-41)、実習、感想カード 授業の開始時に小テスト(答合わせ後、フィードバック (P22-26) する)	・自分好みのルームスプレーを作ることが出来る。	(復習)希釈濃度の計算が出来るようにする。 (予習)各利用法の精油の敵数を確認する。	60	規律性
8週 /	・アロマセラピーを実践する② ・精油を使ったコスメ作り(バスボム)	講義 (P42-48)、実習、感想カード	・利用法による敵数の違いを理解する。	(復習)各利用法の注意事項を復習すること。 (予習)各利用法の精油の滴数を確認する。	40	実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	・アロマテラピーを実践する③ ・精油を使ったコスメ作り(クリーム)	講義(P49-54)、実習、感想カード	・利用法による注意事項を学ぶ。	(復習)利用法について整理して確認する。(予習)どのような石けんを作るかイメージを作ること。	60	実行力
10週 /	・小テスト ・アロマ石けん作り	講義、実習、感想カード	・独自のオリジナルなアロマ石けんを作成できたか。	(復習)今までの授業内容の復習(予習)歴史のポイントを教科書で確認する。	60	発信力
11週 /	・アロマテラピーのメカニズム	講義(P56-60)、実習、感想カード 授業の開始時に小テスト(答合わせ後、フィードバック(P35-54)する)	・アロマテラピーが心身に作用する経路を理解する。	(復習)教科書に出てくる単語の意味を整理して復習する(予習)どのような場面でアロマテラピーが活用できるか確認する。	60	規律性
12週 /	・小テスト アロマテラピーと美容と健康① ・アロマクラフト(目的別サシェ作り)	講義(P62-67)、実習、感想カード	・独自のオリジナルなサシェを作成できたか。	(復習)健康面でのアロマテラピーの活用方法を理解する。(予習)スキンケアでのアロマテラピーの利用法を確認する。	60	創造力
13週 /	・アロマテラピーと美容と健康② ・アロマクラフト(文香作り)	講義(P68-74)、実習、感想カード 授業の開始時に小テスト(答合わせ後、フィードバック(P62-67)する)	どのように健康と美容の場面で利用が出来るかを理解する。	(復習)健康と美容の場面で利用が出来ることを復習する。(予習)。	60	主体性
14週 /	・小テスト ・アロマテラピーの歴史	講義(P76-86)、実習、感想カード 授業の開始時に小テスト(答合わせ後、フィードバックする)	・アロマテラピーの歴史について理解する。	(復習)心身に作用する経路を復習すること。(予習)どのような歴史があるか教科書を読み込むこと。	60	主体性
15週 /	・小テスト ・アロマテラピーに関する法律 ・総まとめ	講義(P88-92)、実習、感想カード 授業の開始時に小テスト(答合わせ後、フィードバック(P76-86)する)	・アロマテラピーに関わる法律を理解する。	(復習)アロマテラピーに関する法律を復習すること。	60	実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力